

第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和8年6月22日

作成担当部署 大江町地域振興課

2 第三セクター等の概要

法人名 株式会社大江町産業振興公社

代表者名 代表取締役 菅野光昭

所在地 山形県西村山郡大江町大字藤田 831 番地の 40

設立年月日 平成7年9月28日

資本金 50,000 千円【大江町の出資額（出資割合）50,000 千円（100%）】

業務内容 大江町健康温泉館、柳川温泉施設、大江町シニアセンター、大山自然公園、道の駅おおえの管理運営

左沢駅乗車券類簡易委託発売等業務 等

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

株式会社大江町産業振興公社（以下「公社」という。）は、本町の「テルメ柏陵」エリアに整備した大江町健康温泉館の入浴施設の管理運営を行うことなどを目的に平成7年9月に設立された。以来、柳川温泉施設、大江町シニアセンター、大山自然公園の指定管理を行っている。令和6年10月には、リニューアルオープンした道の駅おおえの指定管理者となり、公社が管理運営するこれらの施設は、地域経済活性化や雇用創出、地域振興、健康増進に寄与している。

経営状況については、コロナ禍による営業自粛や利用者の減少に始まり、円安やウクライナ情勢等に起因する物価高騰や人件費の上昇により、令和4年度から赤字経営が続いている。さらに、令和6年度からは道の駅おおえの管理運営が新たに加わったことによる経営規模の拡大に伴い、費用が増嵩し債務超過となった。

本町としては、町長をはじめとする幹部職員が公社の取締役や監査役を務め、取締役会等における経営上の意思決定に関与するとともに、町議会で決算や事業計画の報告を行っている。また、近年の経営状況に鑑み、公社の安定的な経営基盤を確保するため、令和8年3月に資本金3,000万円を追加出資するとともに、令和8年度から一部施設の指定管理料を増額した。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組みに係る検討

公社が管理運営している各施設は、本町の観光や交流の中核的な拠点として重要な役割を担っている。引き続き、その役割を担うためには、経費削減や集客努力による経営改善に努める必要がある。そのため、町としても財務諸表の分析や各施設の現地確認、役員や従業員との対話を通して、経営の改善を推進していく。

令和8年度以降は、収益の実態に合わせた費用の見直しを進めることで、経常利益の確保に努め、早期の債務超過解消を目指していく。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

公社においては、第32期営業年度（令和8年度）経営計画の策定にあたり、「経営方針」及び「基本方針」の再構築を行った。そのうえで「重点取組事項」や「経営改善に関する具体的な対応」を確実に実行することとしている。公社への出資者であり施設の設置者である町としても、適切な助言や指導、支援等を行い、令和10年度には債務超過を、令和14年度には累積欠損金を解消していく。

『第32期営業年度（令和8年度）経営計画書』

<経営方針>

- 大江町の地域資源を活かした付加価値の創出と、大江町で暮らしている方や大江町を訪れてくる方へ“価値”を伝えることを通じた、大江町の経済の循環、農林水産業・商工業・観光業などの産業の振興への貢献

<基本方針>

- 顧客のエンゲージメント（町のブランドとの間に築かれる信頼関係や心理的な絆）の向上につながる施設の運営、サービスの提供に努める。
- 季節に合わせたイベントの開催や、SNS等による情報発信を通して、子育て世代やファミリー層を中心とした新たな顧客の確保に努める。
- 社員のエンゲージメント（所属する組織や仕事に対して自発的に貢献したいという意欲を持ち、主体的に取り組んでいる状態）の向上につながる業務管理、組織管理・人材育成に努める。
- 経営に関する指標の多角的な分析を通して、経常利益の確保に向けた迅速な経営の改善に努める。

<重点取組事項>

- 町内の教育機関、企業・団体等との連携によるイベント等の開催を通じた、賑わいの創出
- 大江町産直運営協議会との連携を通じた、町の農産物や特産品の紹介・販売
- 交流人口の拡大につながる、各種施設や飲食店等との連携による周遊の促進
- 関係人口の拡大につながる、ふるさと納税返礼品の開発

- 新たなブランド力の創出・形成につながる、特産品の開発
- 町・施設間の意思疎通の強化による、経営改善に向けた取組みの推進
- 各施設における宿泊機能や飲食機能など、各種サービスの持続可能な提供体制の構築に向けた調査・研究

『経営改善に関する具体的な対応』

- ① 経常利益の確保
 - ・ 柳川温泉や大山自然公園の利用料金（宿泊料金）の見直し
 - ・ 各施設の販売費・一般管理費（人件費・管理諸費等）の見直し
 - ・ 道の駅おおえレストランの営業時間短縮の継続
 - ・ 各施設の指定管理料等の増額
- ② 資本金の追加
 - ・ 経営基盤の強化に向けた町からの出資金の追加（2,000万円→5,000万円）
- ③ 組織体制の改編
 - ・ 経営状況の多角的な分析とその内容を迅速に経営に反映できるよう、町と公社との意思疎通及び施設間の意思疎通が図られる組織体制への改編（3部体制→2部体制）

(参考)

6 法人の財政状況

	項目	金額 (千円)		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸借対照表から	資産	97,779	75,516	83,712
	(うち現金預金)	84,975	51,849	56,836
	(うち売掛金)	1,908	7,449	9,022
	(うち棚卸資産)	4,427	10,198	9,135
	負債	97,965	104,576	117,812
	(うち大江町からの借入金)	0	0	0
	純資産	△185	△29,060	△34,100

	項目	金額 (千円)		
		令和5年度	令和6年度	令和7年度
損益計算書から	売上高	242,527	382,656	434,496
	売上原価	46,819	127,903	170,247
	販売費及び一般管理費	202,536	304,931	322,199
	営業外収益	211	21,513	23,636
	営業外費用	0	0	511
	経常損益	△6,616	△28,665	△34,824
	税引前当期純損益	△6,798	△28,665	△34,824
	当期純損益	△6,983	△28,874	△35,040